

2020 年 3 月 10 日

外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「QT 延長症候群を有する患者において、心房期外収縮（PAC）と多形性頻拍である Torsade de Pointes の関連性の検討」への協力をお願い

循環器内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象:2004 年 1 月 1 日～2020 年 1 月 1 日の間に救急外来や入院中に致死的不整脈（多形性心室頻拍・心室細動）を発症した方

研究期間:倫理審査委員会承認日～2025 年 1 月 1 日

研究目的・方法:

これまで失神や突然死の原因となる Torsade de Pointes (TdP) と称される不整脈の一つである多形性心室頻拍は、QT 延長症候群を有する患者様において、心室期外収縮 (PVC) の発生が関与していると考えられていました。一方、治療の必要のない心房期外収縮 (PAC) は TdP とは無関係と考えられていました。

しかしながら、個々の患者の心電図を事後解析すると、PAC もこの TdP に関与している可能性が示唆されており、私たちは QT 延長症候群を有する患者において PAC も TdP に関与している可能性があるかと推測いたしました。

これまで当院入院中に TdP を引き起こした QT 延長症候群の患者の方で、モニター心電図を後方視的に解析し、TdP を引き起こした原因に PAC が関与しているかどうかを調べさせていただきたいと考えております。

研究に用いる試料・情報の種類:

診療録より以下の情報を取得し、研究に使用します。

一般情報:年齢、性別、身長、既往歴、失神の既往、ICDの有無、内服薬、家族歴

生化学検査:Cre (eGFR)、BNP、K、Mg、Ca

心電図:心拍数、T-wave alternans 値、QT 時間

モニター心電図:心拍数、T-wave alternans 値、QT 時間、PAC・PVC の数、pAF の合併

ホルター心電図:心拍数、T-wave alternans 値、QT 時間、PAC・PVC の数、pAF の合併

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断

りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 第2内科
電話番号 058-230-6523
氏名：遠藤奨、高杉信寛

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 循環病態学分野
氏名：大倉宏之